



自然な寝具で快眠と環境を両立 寝具のグリーン購入の推進

株式会社 沢田商店
滋賀県長浜市

1

洋式の寝具が台頭する

- 1980年後半から、急激に羽毛・羊毛・合織の寝具や複合素材の寝具が増加
- キルティング仕上げの為仕立て替が難しい
- 低価格化により粗製濫造の低級品が増える



3

寝具には打直しという リユースの文化がある

- 1890年創業、もめん綿の打直しを生業とする
- 昔はもめん綿の布団が主流。打直しによって布団の仕立て直しを行い、長く使っていた



2

粗大ゴミNo.1は寝具

- 寝具には、リサイクルのシステムが確立されていない
 - 金属スプリングを使ったマットレス、キルティングをした洋布団等はリユースもできない
 - 低価格化により、リユースより新品が安い
- ↓
- 結果、粗大ゴミになる寝具が急増する
 - グリーン購入基準も設定されていない

4

1998年寝具のグリーン購入への取組みを開始

- 基本的な考え方は**レデュース**と**リユース**
- 大量消費より「長く使って資源を節約」
- レデュース 長く使える寝具の推進
- リユース 再利用できる寝具の推進
- 分別可能な寝具の推進
- 生分解可能な寝具の推進

本物の素材を探して ヨーロッパに学ぶ高い環境指向

- ヨーロッパには自然素材100%で快眠できる寝具が多い
- 金属スプリングのマットレスから、自然素材100%のマットレスへ
- リヨセル、グリーンコットンなど環境負荷の少ない素材が充実



寝具のグリーン購入ガイドを独自設定

- 再利用・分別・生分解の3つの基準の表示を取り組む (1998~)
- 当初は半分以上の寝具が基準を満たせない
- 環境に優しい寝具=快眠機能の高い寝具とはいえなかった

グリーン購入に関する
さわだ独自のランク付けについて

グリーン購入とは地球環境保護の観点で商品購入をすることをいいます。さわだでは、グリーン購入を推進するために各商品に対して、独自のガイドラインを設け、商品別に異なる環境基準を定めています。

ガイドラインは現在A～Eの5段階に決められ、

- その素材が製法可能なものかどうか
- その素材が産地から見た場合、全分解（生分解）できるかどうか
- リサイクル等に鑑みて、素材の分別が可能なかどうか

以上の3つの観点から、ランク付けを行っています。

ご注意

- この規格は独自に定めた暫定規格です。規格化を待たず、標準に準ずるグリーン購入ガイドを定めておきます。その際、独自基準を廃止し、標準に準ずるものとさせていただきます。商品別に異なる環境基準も、必ずしも廃止は行わないという点も御注意ください。
- 商品の持つ機能の良し悪しとは無関係です。このガイドラインは、商品別に環境基準を定めているもののあくまで環境基準です。商品別に異なる環境基準を定めているという点も御注意ください。
- 一層の基準は、良いものを長く使うことです。リサイクル可能な素材は、必ずしも環境に優しいとは限りません。長く使える良いものをお選びください。

長期間使用できる寝具の開発と推進

- 長期使用に耐える、良質の素材の選定
- 素材の品質を確保するために、既製品から、工場と共同企画のオリジナル品へ変更
- ヨーロッパの良質の羽毛原料を現地で買い付け



再利用を可能にする環境整備

- 羽毛リフレッシュマシンをドイツより導入。店頭での羽毛布団のリフォームが可能に
 - 店頭設置としては日本で2台目



生分解性の高い寝具を推進

- 最後は土に還る自然素材の寝具を選ぶ
 - 例:天然ラテックスは紫外線で分解される



金属スプリングのマットレスは多種類の素材からできているので、分別リサイクルがしにくい

分別可能な寝具の開発

- 破棄処分するとき、素材別に分別しやすくした寝具の開発
 - 羊毛わたとポリエステルわたの混綿わた → 羊毛わただけの層とポリエステルの層に分離



- できるだけ単一素材の寝具を選定する
 - 金属スプリングのマットレスは金属・布・詰め物など複合素材 → 天然ラテックスのマットレスへ

環境に負荷をかけない素材

- オーガニックコットン
- エコテックス規格100
- グリーン電力証書工場の製品



寝具のグリーン購入への啓発PR

- ニュースレターの発行
- チラシ等での啓発



取組みの成果(2) 快眠と環境との両立

- 快眠の実現という目的と、環境負荷を少なくするという目的が、良質な自然素材の寝具を使うことにより両立するようになった
- 快適な睡眠の実現は社会コストを下げることに貢献する＝そのこと自体がグリーン購入といえるのではないだろうか
 - 日本人の5人に1人はなんらかの睡眠障害(厚生労働省)
 - 睡眠障害による損失は3兆5000億円(日大医学部内山教授)
 - 滋賀医科大学睡眠学講座、日本睡眠環境学会との連携
 - 良質な睡眠環境の提供と快適睡眠のための情報提供

取組みの成果(1)

それとは意識せずにグリーン購入

- 良質の自然素材の寝具の品揃えを充実させる
→グリーン購入基準を満たす品揃えに繋がる
- グリーン購入基準品の販売割合が向上したため(寝具で80%以上)、特に意識せずにグリーン購入が実現されている
- 社員の環境に対する意識が向上



より美しく、健康に。
自然な寝具ができること

www.sleep-natura.jp